

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1513 号

Diagnostic Value of Exhaled Breath Analysis in Esophageal Cancer  
(呼気分析を用いた食道癌スクリーニングの有用性)

松森 聖 (まつもり せい)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、食道扁平上皮癌患者と健常者における呼気分析を用いて比較検討を行い、食道癌患者の検出に有用であるかを検討している。

食道癌は無症候性に進行するため、診断時には進行癌で発見される症例が多い。他の消化器癌と比較し進行が早く予後不良であるため早期発見が重要である。現在様々な臨床マーカーの開発・研究が行われているが、未だ臨床応用されているものは少なく、非侵襲的で早期発見に有用な臨床マーカーの開発が求められている。乳癌、肺癌などではGC/MS (ガスクロマトグラフィー-マススペクトロメトリー) を用いた呼気分析による診断が可能であるとの報告があるが、食道癌では未だ報告がない。本論文は食道扁平上皮癌患者の呼気分析を行い、患者群と健常者群の呼気中に含まれるアセトニトリル、酢酸、アセトン、2-ブタノンの4成分において有意差があることが示され、患者群の臭気成分が健常者と明確に区別できる可能性を初めて明らかにした臨床的に意義のある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。